

**授業概要**

21世紀は、経済成長と環境保全を両立させることがますます重要になる時代です。本講義では、企業の環境保全活動を環境会計の視点からアプローチします。環境会計とは、企業の経営活動における環境保全のためのコストとその効果を定量的に測定し評価するシステムです。本講義は、前半部分において国内外の環境会計の理論的展開および諸制度を概観し、後半部分では企業の「CSR 報告書」や「環境・社会報告書」、「統合報告書」等を活用して、環境会計情報のもとづく分析と評価の方法について講義します。地球環境保全や脱炭素社会、eco 検定などに関心のある学生はぜひ受講してください。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション：授業内容の全体像と成績評価、注意事項
第2回	環境会計の役割と系譜（ドイツ、アメリカ、日本）
第3回	環境省「環境会計ガイドライン」の変遷と統合
第4回	環境会計における財務・非財務情報（1）環境保全コスト
第5回	環境会計における財務・非財務情報（2）環境保全効果
第6回	環境会計情報開示の現状と課題
第7回	環境会計情報を活用した企業評価：環境効率と環境負荷集約度
第8回	中間まとめ
第9回	環境会計情報のもとづく分析評価（1）電力会社の事例研究
第10回	環境会計情報のもとづく分析評価（2）鉄鋼会社の事例研究
第11回	環境会計情報のもとづく分析評価（3）電機会社の事例研究
第12回	環境会計情報のもとづく分析評価（4）製紙会社の事例研究
第13回	環境会計情報のもとづく分析評価（5）食品会社の事例研究
第14回	環境財務会計の展開：環境資産と環境負債
第15回	総まとめ
第16回	定期試験

**到達目標**

本授業は、受講生の皆さんが

- （1）環境会計の概念と役割を理解できる
  - （2）企業経営と環境保全に取り巻く諸問題を発見できる
  - （3）グループメンバーと協力しながら研究課題に取り組むことができる
  - （4）インターネットを活用して情報収集・分析・発信できる
- の4つを目標としています。

**履修上の注意**

本講義はグループワーク型アクティブラーニング授業です。毎回、4人程度でグループを作り、研究課題に取り組みます。グループワークを通して、環境会計の専門知識に対する理解が深まり、環境会計情報の活用にも自然と慣れていくでしょう。これから先、大学生・社会人として求められる環境保全と企業活動にかかわる情報収集能力、聞く力、話す力、積極性、協調性と責任感が養われることを期待しています。

**予習復習**

- ・予習：授業計画に沿って、新聞や企業 Web サイト等を活用して適宜に予習しましょう。
- ・復習：授業終了後、配布プリント等を活用して理解を深めましょう。

**評価方法**

期末試験成績：55%      グループワークの参加とフィードバックシートの提出：45%

**テキスト**

指定教科書はありません。毎回、スライドを映して講義し、授業プリント等を配布します。